

令和 6 年度 (2024)

年 間 授 業 計 画

第三学年



教 科	科 目	ページ
国 語	文学国語	1
	古典講読	2
	古典演習	3
地理歴史	世界史演習Ⅰ	4
	日本史演習Ⅰ	5
	世界史演習Ⅱ	6
	日本史演習Ⅱ	7
	地理探究	8
公 民	倫理	9
	政治・経済	10
数 学	数学Ⅲ（D 7）	11
	数学C（A 3）（B5・C6）（D 7）	12－14
	文系数学演習（B5）	15
	理系数学演習（C6）	16
理 科	化学	17
	生物	18
	物理演習	19
	化学演習	20
	理科基礎演習Ⅰ（物理）（化学）（生物）	21-23
	理科基礎演習Ⅱ（化学）（生物）（地学）	24-26
体 育	体 育（男子）（女子）	27
外国語	英語コミュニケーションⅢ	28
	論理表現Ⅲ	29
	英語特講	30

教科・科目	文学国語	2 単位	対象学年	3 学年
教科書	筑摩書房『文学国語』		教科担当者	
副教材	・「思考の論理スイッチ 3 実戦編」(浜島書店) ・「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習 四訂版」(桐原書店) ・「共通テスト+センター試験国語過去問題 平成 29～令和 5 年+プレテスト 古典〈増補版〉」(尚文出版)		A () B () C ()	

目標	【A：知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	【C：学びに向かう力、人間性等】 近代以降の優れた文章や作品を読解し鑑賞する力を高め、作品の主題や現代の課題を見出し、人間や社会のあり方について考察する力を養い、自ら進路を切り開く。
----	--	--	--

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	「小説とは何か」 「遠野物語」 「陰翳礼讃」 「みづの上日記」 「舞姫」	26	・筆者の主張、問題提起を通じて、今日的な課題について理解を深める。 ・心情表現や比喻表現に着目し、人物の言動の意味や心情を理解する。 ・文学の意義を理解して自分自身の読みを深め、鑑賞する力を高める。 ・文章の展開や表現を把握する。	○	○	○	定期考査、課題、小テスト 発表 など
二 学 期	「無常ということ」 「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」 共通テスト過去問題演習	30	・的確に読解した上で自ら考えたことを、明確な文章として表現する。 ・初見の文章の読み方や解答の書き方を習得する。 ・過去に出題された共通テスト問題を解き、入試に対応できる力を養う。	○	○	○	定期考査、課題、小テスト 発表 など
三 学 期	共通テスト過去問題・対策 問題演習		・問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学試験に備える。	○	○	○	
		合計 56					

教科・科目	古典講読	2単位	対象学年	3学年
教科書	古典探究（数研出版）		教科担当者	
副教材	・トータルサポート新国語便覧（大修館書店） ・完全マスター古典文法（第一学習社） ・つながる・まとまる古文単語 500PLUS（いいずな書店） ・古典共通テスト＋センター試験国語過去問題集（尚文出版） ・読んで見て覚える古典攻略76（桐原書店） ・即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習（桐原書店）		A（ ） B（ ） C（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 伝統的な言葉の知識を身につけ、生涯において豊かな言語生活を送れるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 古典を通し先人たちのものの見方や考え方を知り、自分の考えを深めたり広めたりする。	【C：学びに向う力、人間性等】 生涯にわたって古典に親しみ、自己を向上させ言語を用いて他者とかかわる姿勢を育む。
----	--	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	「枕草子」 古今の草紙を	26	・場面や情景、人物の心情に着目しながら具体的にイメージすることができるようにし、長い文章を読解する力を養う。 ・当時の社会や価値観についての理解を深める。 ・敬語表現から主体や敬意の方向について確認することで、物語に登場する人物とその関係性を正確に捉えることができるようにする。	○	○	○	定期考査、小テスト、授業内発表 提出物 グループ発表 など
	「枕草子」 殿などのおはしまさ でのち 「大鏡」 肝試し 「源氏物語」 夕顔の死						
二学期	「源氏物語」 葵の上と物の怪 母子の別れ 女三宮の降嫁 (紫の上の死)	30	・「源氏物語」等の読解を通して、古語や古文の表現に慣れ親しむとともに、当時の文化や風習、人々の人生観などを理解する。 ・文章の読み方や解答のしかたを習得する。 ・過去に出題された大学入試問題を解き、入試に対応できる力を養う。	○	○	○	定期考査、小テスト、授業内発表 提出物 グループ発表 など
	大学入試過去問題演習						
三学期	大学入試過去問題演習		問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通試験に備える。	○	○	○	
		合計 56					

教科・科目	古典演習	1 単位	対象学年	3 学年
教科書	大修館書店「古典探究」古文編・漢文編		教科担当者	
副教材	第一学習社「完全マスター古典文法」 いっずな書店「つながる・まとまる古文単語 500PLUS」 第一学習社「新版六訂カラー版新国語便覧」 尚文出版「古典共通テスト＋センター試験国語過去問題集」 いっずな書店「読んで見て覚える古典攻略76」 桐原書店「即戦ゼミ 入試頻出 新国語問題総演習」		()	

目標	【A：知識及び技能】 読解・問題の演習を通して、重要語句や表現、文法の整理と定着を図り、内容理解を深めて、入試古文に対する基礎的・応用的な学力をつける。	【B：思考力、判断力、表現力等】 古典を通し先人たちの思いを知り、それを自らに投影し思考することができる。また、自分の言葉でそれを表現することができる。	【C：学びに向う力、人間性等】 自らが必要とする知識を見極め、自分のものとするよう努める姿勢がみられる。
----	---	---	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	長恨歌 和歌を含む文章 センター試験過去問題演習	12	1・2年時で学習した古文読解上の基礎知識を確認しながら、問題演習で応用することで完全な定着を図る。 和歌の修辞法や解釈、文法の理解を深めながら、大学入試問題に対応できる読解力を養う。	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
二学期	センター試験過去問題演習	14	様々なジャンルの古文や和歌を読み、文法事項を確認するとともに、難解な文章や問題に対応できる読解力を養う。 過去に出題されたセンター試験問題を解き、入試に対応できる力を養う。	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
三学期	センター試験過去問題演習	3	問題を解きながら、必要事項を整理・確認し、大学入学共通試験に備える	○	○	○	定期考査、授業態度、小テストなど
		合計 29					

教科・科目	地理歴史・世界史演習Ⅰ	5 単位	対象学年	3 学年
教科書	『世界史探究 詳説世界史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『アカデミア世界史』浜島書店 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』 とうほう		()	

目標	【A：知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
----	---	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第 12 章 産業革命と環大西洋革命 第 13 章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成” 第 14 章 アジア諸地域の動揺” 第 15 章 帝国主義とアジアの民族運動 第 16 章 第一次世界大戦と世界の変容	65	・フランス革命中の国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解し、ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解し、ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現し、南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現し、各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・第一次世界大戦がもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。” ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・西欧諸国における第一次世界大戦後の展開を多面的・多角的に考察し表現する。	○	○	○	定期考查 提出課題 発問評価 授業態度
二学期	第 17 章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成” 第Ⅳ部 地球世界の課題 第 18 章 冷戦と第三世界の台頭” 第 19 章 冷戦の終結と今日の世界”	75	・国際対立の激化の経過と二度の世界大戦との関連を考察させる。 ・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ファシズム諸国の攻勢が国際政治に与えた影響を理解し、開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。” ・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ・20 世紀半ばからの冷戦の構造と経過を理解させる。 ・冷戦後に頻発する地域紛争や民族対立、経済格差の原因や構造について考察させ、これらの課題について解決していこうとする態度を育む。	○	○	○	定期考查 提出課題 発問評価 授業態度
三学期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	35	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計 175					

教科・科目	地理歴史・日本史演習Ⅰ	5 単位	対象学年	3 学年
教科書	『日本史探究 詳説日本史』山川出版社			教科担当者
副教材	『新詳日本史』浜島書店 『詳説日本史史料集 再訂版』山川出版社 『詳説日本史スタンダードテスト』山川出版社			()

目標	【A：知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	【C：学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
----	--	--	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第Ⅲ部 近世 第 8 章 近世の幕開け 第 9 章 幕藩体制の成立と展開 第 10 章 幕藩体制の動揺	65	・安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにする。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	第Ⅳ部 近代・現代 第 11 章 近世から近代へ 第 12 章 近代国家の成立		・近世の幕末期から現代までを扱う。「歴史総合」の学習を踏まえた、世界の情勢の変化とそこにおける日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解できるようにする。				
二学期	第Ⅳ部 近代・現代 第 13 章 近代国家の展開 第 14 章 近代の産業と生活 第 15 章 恐慌と第二次世界大戦 第 16 章 占領下の日本 第 17 章 高度成長の時代 第 18 章 激動する世界と日本	75	・国際対立の激化の経過と二度の世界大戦との関連を考察させ、それらに我が国がどのように関わっていったのかを理解できるようにする。 ・これまでの学びを通して、現代の日本の課題を考察し、構想できるようにする。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
三学期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	35	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計 175					

教科・科目	地理歴史・世界史演習Ⅱ	2 単位	対象学年	3 学年
教科書	『世界史探究 詳説世界史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『アカデミア世界史』浜島書店 『ウィニングコンパス世界史の整理と演習』 とうほう		()	

目標	【A：知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解していると同時に、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
----	---	---	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的特質の形成 第1章 文明の成立と古代文明の特質” 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界” 第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の世界形成” 第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第Ⅱ部 諸地域の交流・再編 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開” 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国”	26	・第Ⅰ部、第Ⅱ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	提出課題 発問評価 授業態度
二 学 期	第9章 大交易・大交流の時代” 第10章 アジアの諸帝国の繁栄” 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向” 第Ⅲ部 諸地域の結合・変容 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺” 第15章 帝国主義とアジアの民族運動”	30	・第Ⅱ部、第Ⅲ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	提出課題 発問評価 授業態度
三 学 期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	14	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計 70					

教科・科目	地理歴史・日本史演習Ⅱ	2 単位	対象学年	3 学年
教科書	『日本史探究 詳説日本史』山川出版社		教科担当者	
副教材	『新詳日本史』浜島書店 『詳説日本史史料集 再訂版』山川出版社 『詳説日本史スタンダードテスト』山川出版社		()	

目標	【A：知識及び技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
----	--	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成 第4章 貴族政治の展開 第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武家政権の成立 第7章 武家社会の成長	26	・第Ⅰ部、第Ⅱ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
二学期	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	30	・第Ⅲ部、第Ⅳ部の内容を復習し、理解を深める。 ・学んだことがらに関連する諸資料を読解する力を身に付ける。さらに、読み取ったことがらから歴史的事象の意味や意義、特色などをより深く理解して、多面的、多角的に考察する力を養う。 ・理解し考察した内容を的確に表現して、歴史に見られる課題を解決するために必要な資質を養う。	○	○	○	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
三学期	教科書 第Ⅰ部～第Ⅳ部の復習	14	・大学入試に備えて、各自の志望校の過去問演習を実施する。志望校の傾向と対策に基づいて、生徒それぞれの課題を準備作成し、個々に面接指導を行う。	○	○	○	提出課題
		合計 70					

教科・科目	地理歴史：地理探究	3 単位	対象学年	3 学年
教科書	『新詳地理探究』帝国書院 『新詳高等地図』帝国書院		教科担当者	
副教材	『世界の諸地域NOW2024』帝国書院 『新詳 地理探究演習ノート』帝国書院 『データブックオブザワールド』二宮書店 『ウィニングコンパス 地理の整理と演習』とうほう		()	

目標	【A：知識及び技能】 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	【B：思考力、判断力、表現力等】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。
----	--	--	--

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第 1 部 現代世界の系統地理的考察 1 章 自然環境 2 章 資源と産業 3 章 交通・通信と観光、貿易 4 章 人口、都市・村落 5 章 生活文化、民族・宗教	39	自然と人間の関わりについて、自然災害や環境問題とも関連付けて理解させる。食料を生産し、物を作り、知識を創造し、サービスを提供しあうなど、さまざまな産業で働いていることを認識させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、読図能力向上と、地形と気候から災害や環境と人間生活の関わりを学ばせる。 〈家庭で学習すること〉地図に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図で各地形と気候の特徴と土地利用の関連を学習させる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
二学期	第 2 部 現代世界の地誌的考察 1 章 現代世界の地域区分 2 章 現代世界の諸地域 ・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・アフリカ ・ヨーロッパ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア	45	世界の諸地域の実態を現代世界の最新の動きに注意させ、理解させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習を行い、世界の諸地域の人間の生活とその地域の環境や文化との関わりを学ばせる。 〈家庭で学習すること〉資源と産業、人間の暮らしに関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図で世界各地域の特徴を学習させる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
三学期	第 3 部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 〔まとめ〕 共通テスト直前対策	21	世界の諸地域や近隣諸国とわが国の関係を有機的に結びつけて、世界と日本の繋がりを理解させる。 〈学校で学習すること〉生徒の取り組んだワークシートと白地図を利用して演習形式の授業を行い、我が国の国土像を考えさせる。 〈家庭で学習すること〉世界と日本に関する基礎的内容をワークシート等の課題で学習。資料集別冊の白地図も学習させる。	○	○	○	定期考査の成績に平常点を加味して評価する。 平常点は、課題等の提出状況・内容や日常の授業への取り組み姿勢をもってあてる。
		合計 105	・大学入試過去問演習 (問題および出題傾向分析と解答解説)				

教科・科目	公民：倫理	3単位	対象学年	3学年
教科書	東京書籍「倫理」		教科担当者	
副教材	『テオーリア最新倫理資料集』（第一学習社）		()	

目標	【A：知識及び技能】 人間尊重の精神に基づいて、自己形成と人間としてのあり方・生き方について理解・思索を深めさせるとともに、良識ある公民として必要な資質を養う。さらに、思想史を中心に共通テストに対応した学力を定着させる。	【B：思考力、判断力、表現力等】 先哲の教えや思想について、具体的・多面的に深く理解したものを深化・拡充させていくとともに、それらの現代的意義について思索を深め、思考・判断し、発表・表現できる力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 個々の教えや思想を、総合的・多角的に捉え直し、己の在り方生き方を見つめ問い直すために活用してくことで、理想の将来像に向けて、人間性や人格形成を育み、実践していこうとする態度を養う。
----	---	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第2章 「人間としての自覚」 1 哲学と人間 2 宗教と人間 3 芸術と人間	39	・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 ・生徒自身が青年期の時期にあることに着目させる。 ・人生における青年期の意義・特徴を理解させる。 ・働くことの意義と社会参加の意義を理解させる。 ・望ましい社会のあり方と自己の生き方との関連について考える。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 ・古代ギリシア人が追求した理想的な人間の生き方とはどのようなものだったか探究し理解を深める。 ・各宗教が説いた、人間の生き方や社会のあり方について理解させる。 ・人文主義者たちが人間の尊厳を重視したことに着目させる。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
	第3章 「国際社会に生きる日本人の自覚」 1 日本人の精神風土						
二学期	2 外来思想と日本の伝統思想 3 西洋思想と日本人の近代化 4 国際社会に生きる日本人の自覚	45	・近代ヨーロッパであらわれた、社会の改良や改革を唱える思想と主体性の確立についての思想家たちの主張を理解させる。 ・他者について思索した思想家たちの主張を理解する。 ・自由・権利と責任・義務がどのような関係にあるのかを理解させる。 ・世代間倫理にかかわる問題について、具体的な事例を通じて考えさせる。 ・国際政治や国際法とはどのようなもの、国内政治や国内法との比較で考える。 ・領土問題が生じる背景と解決方法について考える。 ・冷戦の終結で、国際社会はどのように変化したか、理解させる。 ・冷戦による対立構造と安全保障のジレンマを理解する。 ・核の保有国と非保有国の意見の相違と国力の関係などについて、多面的に検討させる。 ・民族をめぐる対立は、なぜ生じるのか、ナショナリズムや自民族中心主義との関係から考える。 ・国際社会のなかで、日本には何が求められているか、人間の安全保障の観点から考える。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
	第4章 「現代を生きる人間の倫理」 第5章 「現代の課題を考える」 共通テスト対応の演習						
三学期	共通テスト対応の演習	21	・全範囲のまとめ ・大学入学共通テストの過去問についての解答・解説 ・私立大学入試問題の過去問についての解答・解説 ・大学入試予想問題演習	○	○	○	・小テスト ・演習課題 ・発表 など
		合計 105					

教科・科目	公民：政治・経済	3 単位	対象学年	3 学年
教科書	『政治・経済』（数件出版）		教科担当者	
副教材	『政治・経済資料集 2024』（東京法令出版）		()	

目標	【A：知識及び技能】 広い視野に立って、政治・経済・国際社会について主体的に考察することのできる力を培い、民主的平和的な社会の有意な形成者としての必要な資質を養う。	【B：思考力、判断力、表現力等】 常に国内外の社会情勢や時事問題に関心を持ち、事実を基に多面的・多角的に考察し、分析・判断する力や、主権者としての自覚を持って社会参画しつつ、構想したことを発信・議論・行動する力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深める。
----	---	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第 1 編 現代の政治 第 1 章 民主政治の基本原則 第 2 章 日本国憲法と民主主義 第 3 章 現代政治の現状と課題 第 4 章 国際政治と日本 第 2 編 現代の経済 第 1 章 経済社会の変容 第 2 章 現代経済のしくみ 第 3 章 国民経済と国際経済 第 3 編 現代社会の諸問題 第 1 章 現代日本の諸課題	39	・民主政治のしくみと役割を把握しながら、世界、日本の政治のしくみと動向について理解を深める。 また、地方自治、政党、選挙、行政権の肥大化など国内政治の具体的事例にふれながら、諸課題や問題点を批判的に考察する態度を培う。 ・経済の変容、しくみ、事象の基礎事項を学習し、経済分野への関心を高める。 ・国際経済のしくみと動向について、国民経済との関連に留意しつつ理解を深める。 ・時事的な問題についての議論を中心とした授業を実施し、生徒相互の議論と認識を深め、また、主体的な授業参加の態度を養う。	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
二学期	第 2 章 国際社会の諸課題 〔まとめ〕 国内政治分野の総復習 国際政治分野の総復習 国内経済分野の総復習 国際経済分野の総復習	45	・戦後日本経済を概観し、現代日本経済や社会のかかえる諸問題について考察を深める。 ・新聞・インターネットなどのメディアをとおして得られる諸資料などを用いて、社会現象を客観的事実にもとづいて分析・批判する能力を養う ・国際社会が直面する地球規模的な諸問題や、グローバル化の功罪についてその実態と原因を考え、問題解決の方途を探る。 ・小テストによる問題演習	○	○	○	・定期考査 ・小テスト ・レポート課題 ・調べ学習課題 ・発表 など
三学期	〔まとめ〕 共通テスト直前対策	21	・大学入試過去問演習 （問題および出題傾向分析と解答解説）	○	○	○	・小テスト ・演習課題 ・発表 など
		合計 35					

教科・科目	数学Ⅲ（D 7）	4 単位	対象学年	3 学年
教科書	啓林館「深進数学Ⅲ」		教科担当者	
副教材	数研出版 体系数学 5 数研出版 体系問題集数学 5 数研出版 実戦数学重要問題集 数研出版 クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編		A（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 関数、極限、微分法、積分法における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、関数、極限、微分法、積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 関数、極限、微分法、積分法に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
----	--	---	--

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	第 5 章 微分法 第 6 章 微分法の応用	38	・ 数学Ⅱで学んだ、整式での微分積分の考えについて、微分積分学の概念をさらに深化させて拡張していく。 ・ 1 クラス 2 展開による習熟度別授業より、幅を持った難易度での演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
	第 7 章 積分法 第 8 章 積分法の応用 入試問題演習（発展的学習） ・ 実戦数学重要問題集		・ 微分積分学が科学的研究の多くの問題に対して有用な役割を果たしていることを深く学習する。 ・ 1 クラス 2 展開による習熟度別授業より、幅を持たせた難易度での演習を行う。				
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・ クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編 ・ 実戦数学重要問題集 ・ 共通テスト実戦演習	40	・ 前年度の主な数学Ⅲの入試問題を抽出して、実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・ 1 クラス 2 展開による習熟度別授業より、幅を持った難易度での演習を行う。 ・ 過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・ 共通テスト実戦演習	22	・ 過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計 100					

教科・科目	数学 C（A 3）	3 単位	対象学年	3 学年
教科書	啓林館「深進数学 C」		教科担当者	
副教材	啓林館「大学入学共通テスト対応問題集数学 I・A・II・B・C」		C（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方 や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
----	---	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	発展的な学習内容 22. 式の計算、二項定理 ～27. 因数定理、高次方程式 発展的な学習内容 26. 点・直線・円 ～38. 面積（2） 発展的な学習内容 39. ベクトル ～44. 漸化式，数列の応用	39	・各単元での必要事項、重要事項をまとめながら、問題演習の解説を行う。 ・生徒の知識・技能を伸ばすために、多くの問題を解かせることとする。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト ・発表 など
	1. 式の計算 ～16. 確率(1) 17. 確率(2) ～21. 整数の性質		・理解の足りない部分は、基本に立ち返り復習をさせる。1 学期は基礎固めに重点を置いて学習させる。				
二学期	発展的な学習内容 共通テスト過去問と 予想問題	45	・知っておくと問題解法に役立つ内容を織り込みながら、1・2 年の授業で説明できない部分を補足する。 ・実際に出題された過去問から、重要な問題や内容を中心に学習する。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト ・発表 など
三学期	発展的な学習内容 共通テスト過去問と 予想問題	21	・直前演習として、最近の過去問を特集して行う。	○	○	○	・定期考査 ・課題レポート ・小テスト など
		合計 105					

教科・科目	数学 C（D 7）	3 単位	対象学年	3 学年
教科書	啓林館「深進数学 C」		教科担当者	
副教材	数研出版 体系数学 5 数研出版 体系問題集数学 5 数研出版 実戦数学重要問題集 数研出版 クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編		A（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 複素数平面、式と曲線における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、複素数平面、式と曲線における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 複素数平面、式と曲線に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
----	---	--	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	第 1 章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法，除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	34	・複素数の実数倍，加法，減法，乗法，除法，共役な複素数や絶対値の図形的意味を理解し，活用できる。 ・ド・モアブルの定理を利用して，複素数の n 乗根の定義と図形的意味を理解し，極形式を用いて n 乗根を求めることができる。 ・複素数平面上で図形を考え，方程式を満たす図形を求めることができたり，種々の図形の性質の複素数を利用した証明が理解できたりする。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
	第 2 章 式と曲線 第 1 節 2 次曲線 第 2 節 媒介変数表示と極座標		・放物線，楕円，双曲線の方程式を理解し，2 次曲線を解析幾何学的方法で考察することができる。 ・種々の曲線のパラメータ表示を理解し，媒介変数で表された曲線がどのような曲線であるかを考察できる。 ・極方程式で表された曲線と直交座標に関する方程式とを互いに言い換えることができ，2 次曲線の回転と複素数平面との関係を理解する。				
二 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅲ・C 受験編 ・実戦数学重要問題集 ・共通テスト実戦演習	36	・数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの大学入試問題を通して，実際の入学試験問題に対応できる力を養う。 ・1 クラス 2 展開による習熟度別授業により幅をもった難易度での演習を行う。 ・共通テストの過去問や類題を利用して 時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
三 学 期	入試問題演習（発展的学習） ・共通テスト実戦演習	18	・共通テストの過去問や類題を利用して 時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート
		合計					
		88					

目 標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
-----	---	--	--

- 15 -

教科・科目	理系数学演習（C6）	3 単位	対象学年	3 学年
教科書	啓林館「深進数学C」		教科担当者	
副教材	「実戦数学重要問題集」 「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編」		A（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 数学における基本的な概念、原理、法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。 また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることを通して、各単元における数学的な見方や考え方を身に付けている。	【C：学びに向う力、人間性等】 数学に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
----	---	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・配布プリント	39	・入試演習を通じて問題への対応力の基礎を身につける。 ・基本的な知識を活用して様々な入試問題の解法の仕方を理解する。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをしていく。	○	○	○	定期考査 課題レポート
二学期	入試問題演習（発展的学習） ・クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C 受験編 ・数学重要問題集数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C（文系） ・大学入学共通テスト試験 実戦演習	45	・入試演習を通じて様々な問題への対応力を身につける。 ・その問題の背景となっている数学的な理論へのアプローチをする。 ・いくつかの分野から問題を抽出して、実際の入学試験に近い形で演習を行う。 ・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
三学期	入試問題演習（発展的学習） ・大学入学共通テスト試験 実戦演習	21	・大学入学共通テストの過去問や類題を利用して時間内で解く実戦演習を行う。	○	○	○	定期考査 課題レポート
		合計 105					

教科・科目	理科・化学	6 単位	対象学年	3 学年
教科書	第一学習社『高等学校 化学』		教科担当者	
副教材	第一学習社『セミナー化学基礎・化学』		()	

目標	【A：知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
----	---	--	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	・有機化合物 炭化水素 アルコールと関連化合物 芳香族化合物 ・化学反応とエネルギー 反応熱，熱化学方程式， ヘスの法則，結合エネルギー ・気体の性質 ・溶液の性質 ・反応速度と平衡 溶解平衡 電離平衡 溶解度積	78	・有機化合物について理解する。 構造と分類，性質・反応の関連性を理解する。 ・発展として高分子化合物，生活・生命関連物質についても触れる。 ・有機化合物総合問題への習熟を目指す。 ・物質の構造と性質の関連を理解する。 ・特に燃焼熱に注目し，エネルギー資源とその利用に目を向けさせる。 ・量的問題の基礎計算に習熟する。 ・化学結合，三態，溶液では発展として結晶構造，気体法則他にも触れる。 ・反応速度，平衡定数の数値的取扱に精通する。 ・平衡状態の具体例を多く取り扱い，個々の物質に関する理解も深める。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
二 学 期	・無機物質 非金属元素と周期表 金属元素 典型金属元素 遷移金属元素 陽イオン分離 ・高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	90	・物質それぞれに関する学習では，酸化還元，反応速度など多面的に取り扱う。 ・物質それぞれに関する学習を通し，溶解平衡・電離平衡・化学平衡についても学ぶ。 ・金属元素について理解する。 ・周期表との関連について確認する ・金属の利用と分析に関する問題への精通を目指す。 ・高分子化合物の成り立ちと特徴を学ぶ。 ・衣食住あらゆる分野に化学物質がその特徴を生かして使われていることを知る。 ・生命関連物質とその働きについて学ぶ。 ・「化学」の視点を加味しながら，共通テスト対応問題で実力養成をはかる。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
三 学 期	入試問題 大学入試共通テスト対策		・大学入試共通テスト、入試問題演習を行う。				定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
		42		○	○	○	
		合計 210					

教科・科目	理科・生物	6 単位	対象学年	3 学年
教科書	東京書籍「生物」		教科担当者	
副教材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 第一学習社「2024 セミナー生物」		()	

目標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
----	--	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	1 編 生物の進化	78	○生物の進化の過程とその仕組み及び生物の系統について観察などを通して探究し、生物界の多様性と系統を理解させ進化についての考え方を身につける。 ○DNA の塩基配列に変化が生じたときに、形質に変異が起こるしくみを探究することで、遺伝的変異が進化のしくみと深く関わっていることを理解する。 ○分子情報に基づく系統のしくみを理解しつつ、ヒトの出現と進化について整理する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	1章 生命の起源と細胞の進化						
	2章 遺伝子の変化と進化の仕組み						
	3章 生物の系統と進化		○生命現象を支える物質のはたらきについて観察・実験などを通して探究し、タンパク質などの物質のはたらきを理解させ、生命現象を分子レベルで理解する。 ○脱水素酵素の働き、アルコール発酵および光合成速度の測定の実験等を通して探究し、呼吸・発酵・光合成という生物の代謝とエネルギーについて理解する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	2 編 生命現象と物質						
	1章 細胞と物質						
二学期	2章 代謝とエネルギー	90	○DNA の複製のしくみ、遺伝子の発現やその調節のしくみ、遺伝情報の変化について、原核生物と真核生物に分けて整理し、理解する。 ○生物の生殖や発生について、観察・実験などを通して探究し、動物と植物の配偶子形成から形態形成までの仕組みを遺伝子発現という側面から理解する。 ○大腸菌にオワンクラゲの緑色蛍光タンパク質 (GFP) 遺伝子を導入する実験を通じて、遺伝子を扱ったバイオテクノロジーの技術について探究し、その原理と有用性を理解する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	3 編 遺伝情報の発現と発生						
	1章 遺伝情報とその発現						
	2章 発生と遺伝子発現		○環境の変化に動物が反応していることについて観察・実験などを通して探究し、動物個体が外界の変化を感知し、神経系で情報を処理・伝達し、反応するしくみについて理解する。 ○動物の行動について科学的に探究し、走性・学習等の動物の行動について整理する。 ○植物ホルモン「オーキシン」の濃度変化による胚軸伸長の変化の実験等を通して植物の環境応答について探究し、植物の生殖・発生、植物ホルモン、光発芽、花芽形成等について理解する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	3章 遺伝子を扱う技術						
	4 編 生物の環境応答						
三学期	1章 動物の刺激の受容と反応	42	○生物の個体群と群集及び生態系について観察・実験などを通して探究し、それらの構造や変化のしくみを理解させ、生態系のバランスや生物多様性の重要性について認識させる。 ○問題演習によって応用力・記述力を養成し、解答力を鍛える。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 実験レポート 課題レポートなど
	2章 動物の行動						
	3章 植物の環境応答						
	5 編 生態と環境 1章 個体群と生物群集 2章 生態系の物質生産と物質循環 3章 生態系と人間生活 問題演習	合計 210					

教科・科目	理科・物理演習	2単位	対象学年	3学年
教科書	数研出版「物理」		教科担当者	
副教材	数研出版 「2024 物理重要問題集 物理基礎・物理」 プリント		()	

目標	【A：知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	【B：思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	【C：学びに向う力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，粘り強く学習に取り組んでいるか，自ら学習を調整しようとしているか。
----	--	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	第4章 電磁誘導と電磁波 1. 電磁誘導の法則 2. 自己誘導と相互誘導 3. 交流の発生 4. 交流回路 5. 電磁波	26	・ファラデーの電磁誘導の法則を学習し，磁場中を動く導体に生じる起電力や，導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・交流の発生のしくみを理解し，交流回路における抵抗，コイル，コンデンサーの特性を理解する。 ・光電効果の実験とアインシュタインの光の量子論を理解する。 ・電子の波動性と物質波、波動と粒子の二重性について理解する。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート など
二学期	第5編 原子 第1章 電子光 1. 電子 2. 光の粒子性 3. X線 4. 粒子の波動性 第2章 原子と原子核 1. 原子の構造とエネルギー準位 2. 原子核 3. 放射線とその性質 4. 核反応と核エネルギー 5. 素粒子 第1編 力と運動 第2編 熱と気体 第3編 波 第4編 電気と磁気 (共通試験対策)	30	・原子の構造とボーアの水素原子モデルを理解させ、水素原子のスペクトルについて理解する。 ・放射性崩壊における特徴と原子核の安定性について理解する。 ・核反応について学習し，反応の際に放出，吸収されるエネルギーを理解する。 ・素粒子の概要について理解する。 ・昨年度，授業で触れられなかった発展的内容の解説 必要に応じて小テストを実施 ・マーク問題対策の問題演習を行う。	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート など
三学期	・大学入学共通テスト ・実践型問題演習	14 合計 70	・新傾向問題の対策問題演習を行う。 ・大学別問題対策問題演習を行う。	○	○	○	課題レポート など

教科・科目	理科・化学演習	2単位	対象学年	3学年
教科書	第一学習社『高等学校 化学』		教科担当者	
副教材	数研出版『2024化学重要問題集』 実教出版『サイエンスビュー 新化学資料 新課程対応』		()	

目標	【A：知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 化学的な事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
----	---	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	物質の構造	26	① 物質の構成粒子と化学の基礎法則 ② 化学量と化学反応式 ③ 化学結合と物質の構造 ④ 酸化・還元と電池・電解 ⑤ 化学反応とエネルギー ⑥ 物質の三態・気体の法則 ⑦ 溶液の性質 ⑧ 反応の速さと化学平衡 ⑨ 酸と塩基の反応 ⑩ 脂肪族化合物 ⑪ 芳香族化合物	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
	物質の変化とエネルギー						
	理論化学						
	有機化合物						
二学期	有機化合物 無機物質	30	⑫ 有機化合物の構造解析 ⑬ 非金属元素 ⑭ 金属元素 ⑮ 無機物質の性質・反応 ⑯ 天然高分子化合物 ⑰ 合成高分子化合物 入試問題演習 共通テスト対策演習	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
	高分子化合物 入試問題						
三学期	入試問題	14	入試問題演習 国公立・私大入試問題演習	○	○	○	定期考査、実験レポート 課題レポート、 グループ発表 など
		合計 76					

目 標	【A：知識及び技能】 知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができていますか。	【B：思考力、判断力、表現力等】 習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身につけているか。	【C：学びに向う力、人間性等】 知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組んでいるか、自ら学習を調整しようとしているか。
-----	---	---	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	熱力学・電磁気学の解説 ◇運動の表し方 ・直線運動の速度 ・直線運動の加速度 ・落体の運動 ◇運動の法則 ・いろいろな力 ・力のつりあい ・運動の法則 ◇仕事と力学的エネルギー ・仕事 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギーの保存	26	演習を通して「物理基礎」全分野の復習を行う。 必要に応じて講習を実施する。	○	○	○	提出物（問題集ノート）、 小テスト など
二 学 期	◇熱とエネルギー ・物質の三態・熱量 ◇波の性質 ・波と媒質の振動 ・波の伝わり方 ◇音 ・音の性質 ・発音体の振動と共振 ◇静電気と電流 ◇共通テストの過去問と 予想問題	30	1 学期と同様 本番を想定して共通テストレベルの問題演習を行う。	○	○	○	提出物（問題集ノート）、 小テスト など
三 学 期	◇共通テストの過去問と 予想問題	14	2 学期と同様	○	○	○	提出物（問題集ノート）、 小テスト など
		合計 70					

教科・科目	理科基礎演習Ⅰ（化学）	2単位	対象学年	3学年
教科書	東京書籍「化学基礎」		教科担当者	
副教材	実教出版『サイエンスビュー化学総合資料』 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック&演習 化学基礎」		（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，化学現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学現象に主体的に関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
----	---	--	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	26	演習を通して、化学基礎の復習を行う。 ① 混合物と純物質 ② 物質とその成分 ③ 物質の三態と熱運動 ④ 原子の構造 ⑤ 電子と電子配置 ⑥ イオン ⑦ 周期表 ⑧ イオン結合とイオンからなる物質 ⑨ 分子 ⑩ 電気陰性度と極性 ⑪ 共有結合の物質 ⑫ 金属結合と金属 ⑬ 物質の分類と性質	○	○	○	定期考査 提出レポートの内容 授業中の発表 小テスト など
	物質の変化 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎 入試問題	30	⑭ 原子の相対質量と原子量 ⑮ 分子量・式量 ⑯ 物質量 ⑰ 溶液の濃度 ⑱ 化学反応式と量的関係 ⑲ 酸・塩基 ⑳ pH ㉑ 酸と塩基の反応 ㉒ 中和滴定 ㉓ 酸化還元 ㉔ 酸化剤還元剤 ㉕ 金属の酸化還元反応 ㉖ イオン化傾向と金属の反応性 ㉗ 電池 ㉘ 日常生活に関連した化学 ㉙ 化学実験の基礎 大学入試共通テスト対策の問題演習を行う	○	○	○	定期考査 提出レポートの内容 授業中の発表 小テスト など
三学期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	14	本番を想定して共通テストの問題演習を行う。	○	○	○	定期考査 提出レポートの内容 授業中の発表 小テスト など
		合計 70					

教科・科目	理科・理科基礎演習Ⅰ（生物）	2 単位	対象学年	3 学 年
教 科 書	東京書籍「生物基礎」		教 科 担 当 者	
副 教 材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 生物基礎」		（ ）	

目 標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
-----	--	---	---

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	1 編 生物の特徴 4章 生物の多様性と共通性	24	○問題集の問題をあらかじめ解いてから授業に臨むように指導し、授業では解説を中心に行う。 ○問題の解説だけでなく、その問題に変わる周辺知識も随時説明し、「生物基礎」に関わる全容に関して、つながりを持って理解させるよう努める。 ○解説しながらも、随時生徒に質問し、緊張感を持って授業に臨めるように工夫する。 ○生徒自身にも解説させる機会を作ることで曖昧な部分をなくし、記憶の定着をはかる。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 課題レポートなど
	5章 生物とエネルギー 2 編 遺伝子とそのはたらき 3章 遺伝情報と DNA 4章 5章 遺伝情報とタンパク質 3 編 ヒトの体の調節 4章 体内環境と情報伝達						
二 学 期	5章 免疫のはたらき	30	○基本的には、1 学期と同様に実施する。 ○二学期後半には、大学入学共通テストと同様の形式・時間配分で問題を解き、実践力を養う。 ○大学入学共通テスト演習は毎回点数の記録を付け、達成感を持ちながら演習ができるように工夫する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 課題レポートなど
	4 編 生物の多様性と生態系 4章 植生と遷移 5章 生態系と生物の多様性 大学入学共通テスト 実践型問題演習						
三 学 期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	16	○二学期後半と同様に問題演習を行う。	○	○	○	授業態度など
		合計 70					

教科・科目	理科・理科基礎演習Ⅱ（化学）	1単位	対象学年	3学年
教科書	東京書籍「化学基礎」		教科担当者	
副教材	実教出版『サイエンスビュー化学総合資料』 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 化学基礎」		（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，化学現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見いだし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 化学現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
----	---	---	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	物質の構成と化学結合 物質の構成 物質の構成粒子 粒子の結合	13	演習を通して、化学基礎の復習を行う。 ① 混合物と純物質 ② 物質とその成分 ③ 物質の三態と熱運動 ④ 原子の構造 ⑤ 電子と電子配置 ⑥ イオン ⑦ 周期表 ⑧ イオン結合とイオンからなる物質 ⑨ 分子 ⑩ 電気陰性度と極性 ⑪ 共有結合の物質 ⑫ 金属結合と金属 ⑬ 物質の分類と性質	○	○	○	定期考査、 提出物、 小テスト など
	物質の変化 物質量と化学反応式 酸と塩基 酸化と還元 日常生活に関連した化学 化学実験の基礎 入試問題	15	⑭ 原子の相対質量と原子量 ⑮ 分子量・式量 ⑯ 物質量 ⑰ 溶液の濃度 ⑱ 化学反応式と量的関係 ⑲ 酸・塩基 ⑳ pH ㉑ 酸と塩基の反応 ㉒ 中和滴定 ㉓ 酸化還元 ㉔ 酸化剤還元剤 ㉕ 金属の酸化還元反応 ㉖ イオン化傾向と金属の反応性 ㉗ 電池 ㉘ 日常生活に関連した化学 ㉙ 化学実験の基礎 大学入試共通テスト対策演習を行う	○	○	○	定期考査、 提出物、 小テスト など
三学期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	7	本番を想定して共通テストの問題演習を行う。	○	○	○	授業態度など
		合計 35					

教科・科目	理科・理科基礎演習Ⅱ（生物）	1 単位	対象学年	3 学年
教科書	東京書籍「生物基礎」		教科担当者	
副教材	第一学習社「二訂版スクエア最新図説生物」 数研出版「大学入学共通テスト対策・チェック＆演習 生物基礎」		()	

目標	【A：知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自然の事物・現象から問題を見だし，見通しをもって観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，表現するなど，科学的に探究している。	【C：学びに向う力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与しようとしている。
----	--	--	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	1 編 生物の特徴 6章 生物の多様性と共通性	13	○問題集の問題をあらかじめ解いてから授業に臨むように指導し、授業では解説を中心に行う。 ○問題の解説だけでなく、その問題に変わる周辺知識も随時説明し、「生物基礎」に関わる全容に関して、つながりを持って理解させるよう努める。 ○解説しながらも、随時生徒に質問し、緊張感を持って授業に臨めるように工夫する。 ○生徒自身にも解説させる機会を作ることで曖昧な部分をなくし、記憶の定着をはかる。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 課題レポートなど
	7章 生物とエネルギー						
	2 編 遺伝子とそのはたらき 6章 遺伝情報と DNA 7章						
	8章 遺伝情報とタンパク質						
	3 編 ヒトの体の調節 6章 体内環境と情報伝達						
二学期	7章 免疫のはたらき	15	○基本的には、1 学期と同様に実施する。 ○二学期後半には、大学入学共通テストと同様の形式・時間配分で問題を解き、実践力を養う。 ○大学入学共通テスト演習は毎回点数の記録を付け、達成感を持ちながら演習ができるように工夫する。	○	○	○	授業態度 発問発表評価 定期考査 課題レポートなど
	4 編 生物の多様性と生態系 6章 植生と遷移						
	7章 生態系と生物の多様性						
三学期	大学入学共通テスト 実践型問題演習	7	○二学期後半と同様に問題演習を行う。	○	○	○	授業態度など
		合計 35					

教科・科目	理科・理科基礎演習Ⅱ（地学）	1 単位	対象学年	3 学年
教科書	啓林館「高等学校 地学基礎」		教科担当者	
副教材	浜島書店「ニューステージ新地学図表」 実教出版「ビジュアルプラス 地学基礎ノート」		B・C組（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 観察，実験などを行い，地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ，科学的な見方や考え方につながる知識と技能を養う。特に 1 年次の内容を復習して，理解を深める。	【B：思考力、判断力、表現力等】 科学の方法に従った観察，実験などを行い，それらの報告書や発表を通じて地学的に探究する能力を養う。特に，観察・実験および問題演習によって思考力を高める。	【C：学びに向う力、人間性等】 日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め，目的意識をもって学習活動を行わせ，地学的に探究する態度を育てる。
----	---	---	--

学期	単 元	時間	指 導 内 容・留 意 点 等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一 学 期	宇宙の構成 太陽系と太陽 恒星としての太陽の進化 銀河系と宇宙大気と海洋 大気の種類 太陽放射と大気・海水の運動 日本で見られる季節の気象 （自然との共生）	13	太陽活動と太陽系 ○ 太陽－地球系の環境についてネット公開情報も扱う。 ○ 恒星の進化を扱い、H R 図の理解をもとに宇宙の成り立ちを考えさせる。 ○ 宇宙の広がりとその観測の視点から扱う。大気の種類と熱収支 ○ 大気・海洋のエネルギー循環、大気大循環（について深め、環境問題の理解を深める。	○	○	○	・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
二 学 期	移り変わる地球 地球史の読み方 地球と生命の進化 （自然との共生） 固体地球とその変動 地球の概観 地球の内部構造 地震波 地球の内部構造 プレートと地球の活動 地震と火山活動	15	火成岩 ○ 鉱物と火成岩の分類について復習する。 堆積岩・変成岩 ○ 地質構造と地史の組み立てを総合的に学ぶ。 ○ 基礎知識の融合を通して地学的な時空間スケールの理解を深める。 地球の形状 地震波を用いた地球内部構造 地球内部のエネルギー ○大学入学共通テスト問題を中心に 1 年次に深く学んだこの領域を復習する。	○	○	○	・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
三 学 期	問題演習	7	○大学入学共通テスト問題を中心に演習する。	○	○	○	・評価Aは、主に小テストと実験・観察実習で総合的に評価する。 ・評価Bは、主に授業中の課題における論述と実習報告書、レポート等の内容で評価する。 ・評価Cは、講義や実習の取り組みやその成果物から総合的に評価する。
		合計 35					

教科・科目	体育（男子）（女子）	2 単位	対象学年	3 学年
教科書	大修館 「新高等保健体育」（改訂版）		教科担当者	
副教材	なし		A（ ） B（ ） C（ ）	

目標	【A：知識及び技能】 実践種目の技能向上、実技種目のタイム向上を目指し、体力の向上を身に付ける。各種目の運動特性を理解し、知識を身に付ける。	【B：思考力、判断力、表現力等】 自己の能力に適した運動の課題の解決を目指して、活動の仕方を考え、工夫させる。	【C：学びに向う力、人間性等】 自ら進んで運動を実施し、運動の楽しさや喜びを体得させる。生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てる。
----	---	--	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	A 体づくり運動（新体力テスト） B ソフトボール サッカー バドミントン テニス 卓球 バスケット	39	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。 ゲームについても立案、計画し運営する。	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 （実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度） 出席状況など
			◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。				
			◎グループの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。				
二学期	A バレーボール B 1 学期と同じ バドミントン 卓球 ＊1 学期と違う種目	45	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。 ゲームについても立案、計画し運営する。	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 （実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度） 出席状況など
			◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。				
三学期	A 2 学期の継続 B 2 学期の継続	21	◎各種目でグループを作り、グループの中で練習課題を設定し練習計画を立てて実践する。 ゲームについても立案、計画し運営する。	○	○	○	スキルテスト 授業ノート 授業観察 （実技種目への振り返り 実技種目への自主的な 取り組み 課題解決への態度） 出席状況など
		合計 115	◎施設、希望等を考え、なるべく偏らないグループ作成をおこなう。				
			◎グループの協力と安全な練習方法等を特に留意して指導する。				

教科・科目	英語コミュニケーションⅢ	4単位	対象学年	3学年
教科書	ELEMENT English Communication II		教科担当者	
副教材	(S)ELEMENT English Communication Ⅲ[啓林館] ELEMENT Ⅲ ワークブック (ADVANCED) [啓林館] (S1) Cutting Edge Orange 大学入試長文読解問題集 [エミル出版] (S2) 2024 大学入学共通テスト(英語リーディング) 対策 Reach 40[美誠社] 2024 大学入学共通テスト(英語リスニング) 対策 Reach 30[美誠社] 共通テスト英語模擬演習 40min. 2025 共通テストリスニング実戦 30分×8 2025		A() B() C()	

目標	【A：知識及び技能】 習得すべき文法知識や語法を正しく理解した上で、それらを場面に応じ適切に用いて、表現活動を行うことができるようになること。	【B：思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションや討論の場面で、身のまわりや世界で起きている話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、聞き手にわかりやすく話し伝えることができるようになること。	【C：学びに向う力、人間性等】 学習した内容を基に、事実や自分の考えなどを自立的に話して伝え合おうとしたり、学習した内容について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、他者と議論する場を積極的に構築する態度を養うこと。
----	--	---	---

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 1～4 Cutting Edge Orange UNIT 1 - 8 大学入学共通テスト 第1回A～第3回B	52	＜エネルギー＞＜環境＞＜健康と生活＞＜技術＞についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、本文学習ノート、グループ発表など
二学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 5～9 Cutting Edge Orange UNIT 9 - 19 大学入学共通テスト 第4回A～第5回B	60	＜多様性＞＜教育＞＜自然＞＜持続可能な発展＞＜芸術＞についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
三学期	ELEMENT English CommunicationⅢ Lesson 10 Cutting Edge Orange UNIT 20 大学入試問題	28	＜人間関係＞についての英文を使い、4技能を高め、実践的コミュニケーション能力を育てる指導を行う。 共通テストの問題形式に慣れさせるとともに、本番でより高得点が取れるように演習を行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表など
		合計 140					

教科・科目	論理表現Ⅲ	2 単位	対象学年	3 学年
教科書	CROWN Logic ExpressionⅢ		教科担当者	
副教材	(W)入試必携英作文 Write to the Point [数研出版] (G)Bright Stage [英文法・語法問題(桐原書店)] CROWN Logic and Expression Ⅲ [桐原書店] 英語の構文 150 [美誠社] 英語の構文 150 標準問題演習 [美誠社]		(G)	(W) (W)

目標	【A：知識及び技能】 表現形式と機能を理解した上で、伝えたい事柄について、話しかけたり例を挙げるやり取りの表現の機能に留意しながら、既習の文法知識を活用して、自分の考えを伝え合う技能を身に付ける	【B：思考力、判断力、表現力等】 アイデアの中から適切なものを取捨選択し、それを基本的な語彙や文法を活用して表現して伝えたり、相手からの質問に応答したりできる。またアイデアや情報の中から適切なものを取捨選択し、論理展開に留意しながら、既習の文法知識を活用して、聞き手を意識したスピーチができる。	【C：学びに向う力、人間性等】 主体的に考え、複数のアイデアの中から適切なものを取捨選択し、1 学年時に学習した基礎的な英文法をさらに定着させ、それを活用して主体的に表現して伝えようとしたり、相手からの質問に応答することができる。
----	--	--	--

学期	単元	時間	指導内容・留意点等	評価規準			
				A	B	C	評価方法
一学期	Writing Write to the Point 1～9 Bright Stage Training Book 第 1 章から 12 章 英語の構文 150 標準問題演習 Unit15～Unit21	26	＜主語の決定＞、＜目的・理由の表現＞、＜時制＞、＜動詞の語法＞、＜関係詞＞、＜時間の表現＞等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表 など
二学期	Writing Write to the Point 10～18 Bright Stage Training Book 第 13 章から 26 章 英語の構文 150 標準問題演習	30	＜数字の表現＞、＜仮定・条件＞、＜比較＞、＜譲歩＞、＜重要表現＞＜A は…だ＞等の項目を中心に、与えられた日本語を自然な英語に直して表現する。 演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表 など
三学期	大学入試問題	14	演習問題を解く事で英文法・語法の総仕上げを行う。	○	○	○	定期考査、グループ発表、個人発表 など
		合計 70					

目 標	【A：知識及び技能】 現代人として必要な世界レベルの知識を多面から学ぶ。「読む」「話す」力を重点的に養い、自ら考える力を育てる。	【B：思考力、判断力、表現力等】 長文や新聞記事などを読み、自己の考えを整理し、表現し、人に伝える力を養う。	【C：学びに向う力、人間性等】 長文や新聞記事等時事問題に触れる中で、自ら学び解決する力をつけ、行動できる人間を育てる。
-----	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--